


小城市立岩松小学校 学校だより第11号	 岩松小だより	令和6年6月21日発行 発行者 校長 真子靖弘
------------------------	---	----------------------------

自己肯定感



日本の子どもたちの自己肯定感が諸外国と比べると低いことが問題視されて久しい。

自己肯定感とは、**自分自身を価値ある存在として肯定的に捉える感情・意識**のことです。一般的に、自己肯定感が低いと、学習意欲が高まらず、自ら学習に向うのが難しくなると言われています。

令和5年度より佐賀県教育委員会は「**ほめるから、はじめる。はじまる。**」を合言葉に掲げ、様々な施策に取り組んでいます。岩松小では、自己肯定感を高めるために、子どもたち一人一人の**よさ**を見つけ褒めたり、一人一人に**出番**と**役割**を与え、**承認**したりする取組を意図的に行っています。

子どもたちの自己肯定感には、保護者様の価値観や考え方も影響します。例えば、子どもが「テストで90点とったよ」と言ってきた時、どのように返答されますか？「あら、10点も間違えたの」、「お兄ちゃんは100点だったわよ」といった、**出来なかった**ところに焦点を当てたり、**他と比較**したりした返答をされますか。それとも「すごいね。毎日、進んで家庭学習に取り組んでいたからね。」、「頑張ったね。ところで、間違えたのはどうしてかな？」と**褒めた後**に**プロセス**や**原因**に焦点を当てた返答をされますか。

子どもが物事を前向きに捉えたり、「**私は私**」というしっかりした**自分軸**をもち(わがままとは違う)生きられたりするよう、学校と家庭が協力しながら、子どもの自己肯定感を高めていきたいものです。

お菓子のゴミ散乱

6/5(水)の夕方、遊具で遊んでいた子どもたちが**大量のゴミ**を拾い、職員室に届けてくれました。ゴミの中には、割れた瓶もありました。翌日、生徒指導担当の永淵ゆい先生が全校児童に注意喚起を行いました。

また、環境委員会の児童に「今後起きないようにどうすればよいか考えてみて」と投げかけています。どんなアイデアを創造してくるのか楽しみです。

あくしゅ大作戦



6/4(火)～11(火)、1年生が生活科の学習として**あくしゅ大作戦**を行いました。岩松小の職員と仲良くなるという目的のもと、自己紹介カード(名刺)を作成し、先生方を訪ね、質問し握手をするという学習でした。

子どもたちは、校長室にも20分休みや昼休みに来てくれました。ノックをし「握手大作戦に来ました。入ってもいいですか？」と尋ね、「失礼します！」と言って校長室に入室。そして、「私は1年松組の〇〇です。好きな物は□□です。よろしくお願いします。」と自己紹介をし、名刺を渡してくれました。その後、握手と私のサインをし、「ありがとうございました。失礼しました。」と言い退室していきました。

どの子どもきちんと受け答えができていました。また、手作りの名刺もしっかりとした字で書かれており、この2ヶ月間の成長を感じました。

「協働」



岩松小の**学校教育目標**は「**自律・協働・創造の育成**」です。この中の「**協働**」とは、「互いの価値観を理解・尊重し、対話を通し、ともに目的へ向かう力」と定義し、その育成を目指しています。

人は一人一人考え方や価値観等が異なります。この「**違い**」を**当たり前**(違うのが普通)と考え、受容し、尊重することができれば、無駄な対立や差別は起こらないと思います。そして、その**違い**を前提に**共通の目的**のために**対話(議論)**し、その結論に対し**協力**していく力を児童に培っていきたくて考えています。言葉を換えれば、協働とは、**民主主義**そのものです。

ただ、現実として、私たち日本人の多くは、他人と同じであることによって安心するという傾向(文化)があります。このような文化を変え、異質な他者を承認しながら共生をめざす成熟した民主主義社会を支えていく力(協働)を小学校段階から培っていきたくて考えています。